

## 第2回一関市総合計画審議会会議録

1 会議名 平成26年度第2回一関市総合計画審議会

2 開催日時 平成26年6月2日(月) 午後1時30分から午後3時35分まで

3 開催場所 なのはなプラザ3階 一関公民館 大会議室

4 出席者

(1) 一関市総合計画審議会委員 21人

阿部新一委員、岩渕三枝子委員、及川忠委員、小山麗子委員、木村静恵委員、金野久美委員、小岩邦弘委員、小森洋子委員、佐藤芳郎委員、菅原五三男委員、菅原勇委員、千田博委員、千葉和行委員、千葉博委員、千葉政吉委員、千葉真美子委員、槻山チエ委員、永澤由利委員、沼倉恵子委員、畠中良之委員(会長)、松岡千賀子委員

欠席委員6人

阿部美代子委員、大澤弘毅委員、小野松男委員、千葉敏恵委員、千葉久美委員、三浦幹夫委員

(2) いちのせき市民活動センター

小野寺浩樹センター長

(3) 市出席者

企画振興部長、企画調整課員

5 会長挨拶

現審議会の任期が平成26年8月23日となっているため、この委員での審議会は最後となる。ご協力いただき感謝する。

また、今後、市民アンケートの実施や基本構想のワークショップを開催することとしており、任期までご協力をお願い申し上げます。

本日は、基本構想のワークショップについて、当日の進行等でお世話になるいちのせき市民活動センター小野寺センター長にお越しいただき、お話を伺うこととしている。可能な限りワークショップにご参加いただき、ご意見をいただきたいと思う。よろしくようお願い申し上げます。

6 市長挨拶(代理 企画振興部長)

市長は公務の都合により、審議회를欠席させていただくので、代わってご挨拶申し上げます。

前回の審議会では総合計画の策定について市長が審議会へ諮問させていただき、この審議会を中心として計画の策定を進めていくこととしたところである。

庁内では、総合計画の策定を全庁的な取り組みとして推進していくため、副市長、部長、支所長等で構成する一関市総合計画策定委員会を設置した。その第1回の会議を5月19日に開催した

ところであり、次期総合計画策定のスケジュールや市民アンケート等について議論したところである。

本日の審議会で審議していただく議題は、大きく分けて2つであり、1つ目は、市民アンケートとワークショップについて、次期総合計画の関係で審議していただく。2つ目は、現総合計画の進捗状況の関係で、後期基本計画の主な指標の平成25年度末時点の状況の報告と平成27・28・29年度の総合計画実施計画の策定についてである。

委員の皆様には忌憚のないご意見をお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

## 7 議 題

- (1) 基本構想アンケートについて【資料No.7】
- (2) 市民アンケートについて  
総合計画策定アンケート実施要領案【資料No.8】
  - ・ 市民アンケート
  - ・ 中高生アンケート
  - ・ 企業アンケート
- (3) ワークショップについて【資料No.9】  
一関市総合計画基本構想策定のための市民参加ワークショップ開催について  
(いちのせき市民活動センター資料)
- (4) 総合計画審議会委員への意見等への回答【資料No.10】
- (5) 総合計画後期基本計画「主な指標」の平成25年度末時点の状況報告について【資料No.11】
- (6) 総合計画実施計画（H27・H28・H29）の策定について【資料No.12】

## 8 審 議

- (1) 基本構想アンケートについて【資料No.7】  
会長から資料の説明を行い、参考にしていただくこととした。  
【質疑・意見等】  
なし
- (2) 市民アンケートについて【資料No.8】  
事務局から資料の説明を行い、質疑・意見交換を求めた。  
【質疑・意見等】
  - ① 審議会委員意見  
居住地を問う設問があり、選択肢が旧市町村の区分となっているが、地域協働体が組織されつつあるので、居住地の選択肢を公民館単位としてはどうか。
    - ・ 市回答  
検討する。
  - ② 審議会委員意見

企業アンケートについて、商工業の分野の企業を対象としているが、別分野（医療、福祉等）の企業も対象としたほうがいいのではないかと。

・ 市回答

アンケートの目的は産業振興のため、企業経営者のご意見を伺うものとしている。

なお、保健福祉分野、教育分野等の企業については、各分野の計画において意見を伺うこととしている。

また、基本計画策定の際に、担当課から各分野の意見を伺うこととする。

介護、福祉、教育の分野の企業については、サービスの受け手と担い手がある。受け手も担い手も市民アンケートで意見を聞くことができると考える。

③ 審議会委員意見

少子化の進行が懸念されるので、結婚支援等についての項目を入れてほしい。

・ 市回答

入れるとすれば少子高齢化の部分であるが、設問について検討が必要である。事務局で検討する。

④ 審議会委員意見

企業アンケートについて、問3の選択肢8に商業、サービス業の集積とあるが、商業の後に観光を追加した方がよい。

また、この選択肢の集積という文言は違和感があるので変更した方がいいのではないかと。

同設問の選択肢11は、回答の分析が難しいと思う。

・ 市回答

検討する。

(3) ワークショップについて【資料No.9】

事務局から【資料No.9】の資料説明を行った。

いちのせき市民活動センター小野寺浩樹センター長からワークショップ開催についての資料説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

⑤ 審議会委員意見

ステップ1、ステップ2のどちらかのみでの参加でもよいかと。

7月上旬に行う予定のスタッフ会議の日程はいつか。

・ 会長

ファシリテーターは3名体制とするのでどちらかのみでの参加でも構わない。負担にならない程度にお願いしたい。

スタッフ会議の日程は未定であるが、7月上旬の平日夜間を予定しているので、決まり次第連絡する。

また、ワークショップへの参加については後日事務局から審議会委員へ依頼文書を送付す

る。

⑥ 審議会委員意見

参加を検討しているが都合により1日しか出席できない方について、ステップ1、2の一方のみの参加は認められないと思われて、不参加となるようなことがないように周知をしてほしい。

- ・ 会長  
気軽に参加していただけるよう周知する。

⑦ 審議会委員意見

市民アンケートの結果はワークショップに反映させるのか。

- ・ 会長  
アンケートの結果は手持ち資料として参考にする程度とし、ワークショップの結果に直接反映させなければならないということではない。

⑧ 審議会委員意見

ファシリテーターの役割として、結論をどの方向に持っていくのか。

- ・ 会長  
意見をたくさん出していただき、キーワードとしてまとめるのみである。方向性を持ってそこに導いていくようなことはしない。  
こんなまちが良いという意見を収集する。

⑨ 審議会委員意見

ワークショップの1つのテーブルは何名位か。

- ・ いちのせき市民活動センター  
8～10名を1テーブルとし、そのほかにファシリテーターが2名、書記が1名と考えている。

⑩ 審議会委員意見

「ワールドカフェ方式でテーブルの移動をする。」とはどのようなイメージか。

- ・ いちのせき市民活動センター  
時間を制限して、いろいろなテーブルに移動してもらう。

⑪ 審議会委員意見

ワークショップ参加者の男女バランスを考慮してほしい。

また、若い人に参加してもらえるよう工夫してほしい。

- ・ 会長  
各種団体からの推薦枠について、男女バランス、若い年代を配慮していただくように依頼

する。

- ・ 会長

ワークショップのキャッチフレーズを付けたいと思うが、私と副会長に一任いただいてもいいか。現在、案として考えているのは、「わたしたちの一関（まち）の未来づくり」である。

- ・ 審議会委員

異議なし

(4) 総合計画審議会委員への意見等への回答【資料No.10】

会長から資料説明を行った。

【質疑・意見等】

なし

(5) 総合計画後期基本計画「主な指標」の平成 25 年度末時点の状況報告について【資料No.11】

事務局から資料説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

⑫ 審議会委員意見

指標一覧について、1つ1つの指標の課題や背景を分析して記入してほしい。

また、戦略的な指標がないのではないかと感じた。

- ・ 市回答

意見として承る。

(6) 総合計画実施計画（H27・H28・H29）の策定について【資料No.12】

事務局から資料説明を行い、質疑・意見交換を求めた。

【質疑・意見等】

⑬ 審議会委員意見

普通交付税の算定の特例（合併算定替）は、どのように縮減されるのか。

- ・ 事務局回答

平成 28 年度から段階的に削減されていく。

平成 17 年合併分に係る影響額としては、合併算定替増加額に対して、平成 28 年度は 9 割となり、29 年度は 7 割、30 年度は 5 割、31 年度は 3 割、32 年度は 1 割となり、段階的に縮減される予定である。

⑭ 審議会委員意見

合併特例債の 10 年延長、過疎債も 5 年延長されたようだが、このことも反映された財政見通しであるか。

- ・ 事務局回答

合併特例債については 10 年延長、過疎債は 5 年延長されたが、財政見通しで見込んでいる

のは事業費ベースでみている。その財源が起債や補助金ということとなる。

## 9 その他

### ⑮ 審議会委員意見

資料の一関・定住自立圏共生ビジョンについてであるが、共生ビジョン懇談会委員と一関市総合計画審議会の委員が重複している。同じ人が委員になるのはどうなのかと思う。

#### ・ 市回答

市では審議会や各種委員会などがあり、同じ人ばかりが委員や役員にならないように気をつけていく。

また、定住自立圏共生ビジョン懇談会の委員選考の考え方については、一関と平泉の圏域の発展のため設置したものであり、両市町の総合計画審議会委員と圏域にまたがる団体から選出した。そのため、公募はしていない。

### ⑯ 審議会委員意見

総合計画の基本構想を検討するという夢のある作業をしていくわけだが、担い手、後継者育成が最重要の課題である。農業、商業、どの分野でも後継者がいない状況で、集団の構成ができなくなっている。

後継者育成の事業をやらなければならないと切実に感じる。

### ⑰ 審議会委員意見

近所には独居老人や老人夫婦も多い。

今後の20年で、集落や町の構成が変わっていくのは目に見えている。現実を見据えて考えなければいけないと思う。

#### ・ 会長

総合計画策定の大きなテーマになると思うので、今後検討していく。

### ⑱ 審議会委員意見

中東北の発展と言っているが、県境を隔てての発展は難しいと感じる。そのため、登米市や栗原市との連携を真剣に考えてほしい。

#### ・ 会長

意見として承る。

事務局から下記についてお知らせした。

#### (1) 審議会委員の公募について

意向調査を提出していただいた結果、再任希望の方は17名となった。再任を希望しない方の10名分については、公募を3名、部及び支所からの推薦を7名とした。公募は5月14日から6月20日まで企画調整課または支所地域振興課で受付している。

(2) 高エネルギー加速器研究機構の視察について

5月27日、昨年度参加されなかった委員の方で参加希望のあった4名の方に、市の関係職員等とともに高エネルギー加速器研究機構を視察していただいた。

(3) 審議会委員の任期について

現委員による、審議会の開催は今回の審議会で最後の予定であるが、ワークショップ及びその説明会について出席案内をさせていただくので、よろしくお願い申し上げます。

15時35分 閉会

10 公開、非公開の別 公開

11 傍聴者の数 3人（報道機関）

12 担当課 企画調整課